



関連科目，教科書および補助教材	
関連科目	
教科書	「現代社会」間宮陽介ほか(東京書籍)
補助教材等	「標準高等地図」帝国書院編集部編(帝国書院)
学習上の留意点	
<p>・基礎的な学力を身に付けるため小テストを繰り返すので，予習よりも復習が大切である。</p>	
担当教員からのメッセージ	
<p>・本講義は，高専5年間で学習する社会科諸科目の導入的な役割も担っている。したがって，教科書の内容に制約されずに，広く自由な観点から現代社会の諸相を多面的にとらえ，社会科学一般の基本的な考え方やセンスを身に付けてもらえるよう工夫したいと思う。</p>	

授業の明細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
1	導入	シラバスの意図するところが概ね理解できる。	
2	わたしたちの生きる社会	今日の地球環境問題には、どのようなものがあるか理解できる。	小テストに備える。
3	わたしたちの生きる社会	環境保護のための国際条約の数々について、その歴史的推移を含めて理解できる。	小テストに備える。
4	わたしたちの生きる社会	今日の資源・エネルギー問題について、国際的な動向とわが国の課題を理解できる。	小テストに備える。
5	わたしたちの生きる社会	バイオテクノロジーの進歩と生命操作について、その可能性と課題を理解できる。	小テストに備える。
6	わたしたちの生きる社会	ユビキタス社会の諸相と留意点について理解できる。	小テストに備える。
7	調整とまとめ	これまでの学習内容を総括できる。	中間試験に備える。
8	中間まとめ	前期の中間まとめとして試験を実施する。	
9	現代社会と青年の生き方	青年期の特徴について、概略を理解できる。	
10	現代社会と青年の生き方	青年期の発達課題（アイデンティティの確立）について理解できる。	小テストに備える。
11	現代社会と青年の生き方	青年期の発達課題（キャリア開発）について理解できる。	小テストに備える。
12	現代社会と青年の生き方	防衛機制と社会的適応、パーソナリティの形成の関係について理解できる。	小テストに備える。
13	現代社会と青年の生き方	青年期を自分自身の問題として考えることができる。	レポートを作成する。
14	地図帳学習	半島名や海流名など、地図帳を示せば名称を答えることができる。	前期末試験に備える。
<b>前期末試験</b>			
15	答案返却・解答解説、後期からの授業概要の説明	試験問題の解説を通じて、間違った箇所を理解できるようになる。	

授 業 の 明 細			
回	授業内容	到達目標	自学自習の内容 (予習・復習)
16	経済のしくみ	アダム・スミスとケインズ、およびマルクスとフリードマンの経済理論について、その基本的な考え方を理解できる。	
17	経済のしくみ	市場経済のしくみと基礎的な経済用語について説明できる。	小テストに備える。
18	経済のしくみ	中央銀行の役割について理解できる。	小テストに備える。
19	経済のしくみ	金融の自由化・国際化について、その概要を説明できる。	小テストに備える。
20	経済のしくみ	政府の役割と財政制度について理解できる。	小テストに備える。
21	経済のしくみ	公債残高の問題点と課題について説明できる。	小テストに備える。
22	調整とまとめ	これまでの学習内容を総括できる。	中間試験に備える。
23	中間まとめ	後期の中間まとめとして試験を実施する。	
24	変化する日本経済	戦後復興と高度経済成長について、時間軸で説明できる。	
25	変化する日本経済	オイルショックからバブル経済までの流れが理解できる。	小テストに備える。
26	変化する日本経済	バブル崩壊後の日本経済の動向が説明できる。	小テストに備える。
27	変化する日本経済	現代の雇用・労働問題について、その概要が理解できる。	小テストに備える。
28	国際政治のしくみと動向	国際紛争を避けるしくみとして、勢力均衡政策と集団安全保障の考え方がとられてきたことを理解できる。	小テストに備える。
29	調整とまとめ	これまでの学習内容を総括できる。	学年末試験に備える。
<b>学年末試験</b>			
30	答案返却・解答解説、全体の学習事項のまとめ、授業改善アンケートの実施	試験問題の解説を通じて、間違っただ所を理解できるようになる。	
<b>総 授 業 時 間 数</b>			60 時間